

一般質問(伊東秀章議員)

1. 新型コロナウイルス感染症禍における市の対応を問う ～避難所・子どもへの食糧支援について～

Q. 新型コロナウイルス感染症禍での指定避難場所の受入体制・感染者用スペース
感染予防・災害協定・フードパントリー事業・ひとり親世帯などについて問いました。

A. 下記の通り回答がありました。

- ◎令和2年度に各避難所にパーテーション20セット、更衣室20セット、簡易ベット60セットを購入。段ボールメーカーとの災害協定により段ボールベットの送付も可能。職員体制は3名⇒5名に増員。自主防災会や地域防災会との協力をしていきたい。
- ◎発熱専用スペースとなる教室に案内するというゾーニングを実施する。
- ◎看護班を中学校ごとに配置し、各避難所に電話相談や巡回をする。
- ◎避難者用マスク、消毒液、石鹸など運営スタッフ用にフェイスシールド、防護服・ゴム手袋・ベストその他次亜塩素酸ナトリウム飛沫防止用ビニールシート等感染予防資材を全指定避難所に配備しているところ。
- ◎災害協定では、全事業者に改めて協定内容を見直した。駐車場利用・緊急医療救護所・燃料・避難者の輸送・段ボールベット給電車両の協定を結んだ。



2. 地域猫調査について問う

Q. TNR(猫を捕獲して避妊手術を施し、元の場所に戻す)への市の今後の支援はどんな考えか問いました。

A. 地域猫活動をおこなう市民に対して捕獲ケージ貸出制度や猫の避妊・去勢手術実施における負担軽減策の追加導入を進めている。

Q. 猫の糞尿相談や猫への餌やりの相談は寄せられているのか問いました。

A. 不適切な餌やりへの指導と猫保護ボランティアの方々との連携によりTNRを含めた地域猫活動の実施を行っていく予定。



市議会議員に当選させていただいた当初から訴え続け、
伊東ひであきがついに実現しました！



「どうぶつ基金さくらねこ事業行政枠取得」決定！

「どうぶつ基金さくらねこ事業行政枠取得」「ネコ捕獲機貸出制度」が決定致しました。猫保護ボランティアの方々の活動TNR(トラップ・ニューター・リターン⇒捕獲して、不妊手術を施し元の場所に戻す。)について、※公益財団法人「どうぶつ基金」のさくら猫事業の行政枠の導入を5月より実施決定致しました。私が議員になる前は、日野市は猫保護ボランティアの方々の活動に対して、全く手を差し伸べていませんでしたが、私が議員になり、一般質問や予算要望で訴え続けて来た事がやっと実現する運びとなりました。

TNRとは? =トラップ・ニューター・リターン⇒捕獲して・不妊手術を施し・元の場所に戻す



さくら型の耳が不妊の目印
→さくらねこ



※公益財団法人「どうぶつ基金」のさくら猫事業とは野良猫・地域猫等に対して無料で不妊手術を施す支援体制の事。不妊手術を施した猫には耳の先端をV字で切込みを入れマークとしている(Vカット、耳さきカット)。その耳がまるで桜の花びらに似ている事から「さくらねこ」と命名されました。

注意事項：誰でも利用できる制度ではございません。猫保護ボランティアの方あるいはボランティア団体で市に登録している方や団体が対象です。また全ての動物病院でご利用できる制度でもございません。「どうぶつ基金」の協力病院が対象となります。猫保護ボランティアされている方は市に登録をお願い致します。

近況報告

我が家の保護犬は避妊手術を施し、痩せていた体重は標準になり、おびえて散歩もできなかったのですが、最近では散歩ができるようになりました。甘えん坊で、家族には喜ぶようになり愛情を注いでいます。辛かった生活から一変、残りの生命を幸せな生活にして可愛がっていきます。保護猫も避妊手術を施し、甘えん坊になり膝の上に飛び乗るようになりました。

まだ一年未満の猫なのですごい活動量。保護犬は保護猫を少し苦手な様で猫を避ける傾向があります。以前からいた12歳の「ウサギ」とは仲良しでしたが、ウサギが他界致しました。12年間家族と共に歩み、家族の笑顔を見守ってくれてありがとう。

